

| 科目名称(Course Title) | | | | 担当教員(Instructor) | |
|---|---|-----------------------|----------------------|---------------------------------|--------------------------|
| グローバル特別講義Ⅳ(公共経営演習Ⅳ) | | | | 谷口 知弘 / 杉岡 秀紀 | |
| 開講学期 (Semester) | 単位数 (Credits) | 履修年次 (Requirement) | 授業形態 (Class Type) | 受講定員の有無 (Maximum Enrollment) | 授業公開 (Workshop Class) |
| 後学期 | 2単位 | 2年次 | 講義 | 無 | 科目等履修・聴講 |
| 授業の概要(Course Description) | | | | | |
| <p>グローバル特別講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは主に行政セクター、市民セクターで重要なテーマを取り上げ、キーパーソンをゲストに招き、地域経営の実際について学び協働のあり方を考えた。</p> <p>グローバル特別講義Ⅳでは、協働の主体としての企業セクターの活動を中心に学ぶこととし、福知山市を拠点にする事業展開する経営者をゲストに迎え、現場からの報告を元にマルチパートナーシップによる社会課題解決の現況を学びこれからを考える。</p> | | | | | |
| 授業の到達目標(Course Objectives) | | | | | |
| <p>公共を担う重要な主体である企業セクターの多様な役割や重要性、具体的な姿を理解する。福知山市における企業家の活動状況を認識し、他セクターとの協働の実際を理解し今後の可能性を構想する。</p> | | | | | |
| 授業計画(Course Schedule) | | | | | |
| 第 1 回 | 導入～ガイダンスと問題提起 | | | | |
| 第 2 回 | 第1部 事業者が先導する地域づくり レクチャー①株式会社方式によるまちづくり事業主体「株式会社フロント」の挑戦 | | | | |
| 第 3 回 | レクチャー②ライフスタイルプロデュースを軸にしたホステル経営とまちづくり | | | | |
| 第 4 回 | レクチャー③地域と共にある宴会場のビジネス再生とまちづくり | | | | |
| 第 5 回 | レクチャー④山を守り、木を活かす林業事業者の試み | | | | |
| 第 6 回 | ワークショップ①持続可能な地域社会と企業セクターの役割を考える | | | | |
| 第 7 回 | 第2部 若手経営者が集い地域と関わる～商工会議所青年部と青年会議所の試み レクチャー⑤福知山商工会議所青年部と地域づくり | | | | |
| 第 8 回 | レクチャー⑥福知山青年会議所と地域づくり | | | | |
| 第 9 回 | ワークショップ②若手経営者コミュニティの役割と可能性を考える | | | | |
| 第 10 回 | 第3部 地域に根ざした中小企業の役割 レクチャー⑦事業継続と持続可能な地域づくり-1 | | | | |
| 第 11 回 | レクチャー⑧事業継続と持続可能な地域づくり-2 | | | | |
| 第 12 回 | レクチャー⑨事業継続と持続可能な地域づくり-3 | | | | |
| 第 13 回 | ワークショップ③「家業を継ぎ、地元で働き仲間と暮らす」働き方・暮らし方を考える | | | | |
| 第 14 回 | まとめ レクチャー⑩「経営」と地域づくり | | | | |
| 第 15 回 | ワークショップ④「私」と地域の未来を描く | | | | |
| 授業時間外学習(Supplementary Activities) | | | | | |
| <p>予習：各回のテーマについて、文献やインターネットによる調査、自身の関心を整理するなどあらかじめ学習しておくこと。</p> <p>復習：講義で得た気づきや成果をレポートにまとめること。</p> | | | | | |

| 成績評価の方法と基準(Grading) | |
|---------------------------------------|---|
| 評価方法 (割合) | 評価基準 |
| クラスへの貢献 (50%) 期末レポート (50%) | 持続可能な地域社会形成における企業セクターの役割や他セクターとの協働について下記を基準に評価する。 秀：理解して、問題点を的確に指摘でき、かつ、問題解決の優れた政策を提示できる。 優：理解して、問題点を的確に指摘し、かつ、問題解決の適切な政策を提示できる。 良：理解して、問題点を的確に指摘できる 可：最低限の理解はできている。 不可：説明できない。 |
| テキスト (Textbook) | 特になし |
| 参考書・資料等 (Supplementary Reading) | 講義で配布するレジюмеで指示する |
| 備考 (Other Information) | <ul style="list-style-type: none"> ・「グローバル特別講義Ⅲ（公共経営演習Ⅲ）」と合わせて履修することが望ましい。 ・詳細は変更する可能性があるので、後日掲示板で連絡する。 ・ゲストの都合により、変更がありうるので掲示に注意すること。 ・3分の1以上（6回以上）の欠席は、単位不可とする。 |
| 教員との連絡方法 (Contact With Instructor) | taniguchi-tomohiro@fukuchiyama.ac.jp（谷口） |